

| 意見・提案など  | 考え方・回答   | 計画案の対応 |
|--|--|--------|
| ○ガソリン代も考え、バスにしなくても普通乗用車（8～9人乗り）でも良いのでは。  | 実証運行をふまえて必要な車両規模を検討する。   | —      |
| ○老人はバス停まで出たり荷物を持ってバス停から帰るのも危険なので、高齢者と障害者の人を大竹市内だけと限定し、自己負担を1回100円～200円とし、個別にタクシー利用したらどうか。<br>あまり利用のないバスを走らすのと個別タクシーを走らすのと、役所の負担がどの程度か比べてみて市民が便利で喜ぶ市政を願います。 | 全市民を対象にタクシー車両で自由に移動できる手段は、費用・効率の面から考えていない。高齢者や障害者はもちろん、多くの市民が利用しやすい移動手段を整備したい。 | —      |
| ○運行するバスは大型ではなく小さな車（10～15人）で良いから、タクシーを利用しないで済むよう、きめ細かい運行（時間、道順）を。   | 時間、ルート乗車時間などバランスを考えながら、分科会で検討したい。  | 分科会で検討 |
| ○路線バスと路線バスが通らない所の人たちとのアクセスをどのように考えているのか。   | ルートから離れた地域はフィーダー交通を整備したい。  | —      |
| ○三ツ石地区から路線バスに乗る場合：3人でタクシーに乗り1人200円出して青木線まで出て路線バスの料金200円を払って大竹駅に行くとしたら、3人で1200円あればタクシーで行けるのではないか。路線バスが無用になるのではないか。  | 状況に応じ最良の方法を利用者で判断していただければ良い。三ツ石の場合は個人ニーズが乗合につながりやすい仕組みとして検討をしている。              | —      |
| ○既存の路線バス沿線の地域でフィーダー導入の要望があった場合、どう取り扱うのか？   | 原則、フィーダーと路線バスの重複運行は適切でない。路線バスは複数の地域に影響しており、特定地域の意向のみで判断できないが、総合的に判断したい。        | —      |
| <b>◆ 運行手法に関すること (2/2)</b>  |  |        |
| ○幹線の運行に合わせて、栗谷線の路線を変更するのか？   | 重複する区間は調整して運行したい。  | —      |
| 意見・提案など  | 考え方・回答   | 計画案の対応 |
| ○ゆめタウンバスとの調整はどうなるのか。   | 双方の同時運行は適切でない。調整のうえ実証運行を行いたい。  | —      |
| ○大三郎口～弥栄大橋までの交通空白区間はどうか。   | 当面は考えていない。地域の声を聞きながら、既存路線バスの見直しの中で検討していきたい。                                    | —      |
| ○5～7月に実行運行を開始できないのか？   | 早く運行できれば良いが、分科会での検討時間や、事務手続き等を考えると10月ごろの運行開始になると想定している。                        | —      |

◆ 運行手法に関すること (2/2)

◆ ルートに関すること (1/4)

| 意見・提案など  | 考え方・回答   | 計画案の対応  |
|--|--|---|
| ○玖波駅から青木線を通って、ゆめタウン、大竹駅経由があったらいいと思います。(2号線はゆめタウンバスがありますが・・・)   | 現在のところ、提案に近いルートを想定しています。   | 分科会で検討  |
| ○計画の対象区域は大竹市(市全域)となっているが、国道2号線周辺もカバーし、和木町北部、和木駅等で同町コミュニティバスや岩国市営バスとの結節を図られてはいかがか。(2～3便に1便程度)ワークショップの意見にも「2号線にバスがない」という意見もある。 | 幹線は渋滞の少ない道路を中心に運行したいと考えている。フィーダーを含めた他の路線や、近隣市町のバスとの連結も将来的には検討していきたい。 | 近隣市町との調整が必要であり、現時点の計画には掲載できない。今後の調整をふまえて、必要に応じ、計画変更で対応する。 |
| ○南栄には公共交通もなく、当面の試験運行のルートとしては理解できるが、その辺りも考慮して導入していただきたい。  | 地域には幹線とは別のフィーダー交通の導入を想定しています。  | —   |
| ○南栄には公共交通もなく、大竹駅まで距離も遠いため日常の移動に不便している。幹線を延長するなど、対策を検討していただきたい。   | 運行方法などは地域と一緒に考えていく。<br>なお、幹線の運行ルートは分科会で検討する。                         | —   |
| ○玖波8丁目まで運行を。またはその代替として午前、午後各1回ずつ乗合タクシー(週3回ぐらい)の運行を。(3～4人乗車で200円)   |  | —   |

|  |  |               |
|--|--|---------------|
| <p>○もう少ししたら年齢的に車を手放すことになる。玖波 8 丁目に 1 日何便か午前、午後に乗入れてもらおうと嬉しい。買い物、通院に必要です。サントピアにも良く行くので 2 号線を通る便が必要。このように思うのでよろしくをお願いします。</p>  |  | —             |
| <p>◆ ルートに関すること (2/4)</p>   |  |               |
| <p>意見・提案など</p>   | <p>考え方・回答</p>  | <p>計画案の対応</p> |
| <p>○高齢のため車を手放そうかと思うが、今の交通手段を考えると手放すことができない。午前、午後に各 2～3 便あればと思う。サントピアによく行くため、2 号線を通る便も欲しい。特に障害者や家族は強く望むでしょう。病院に行くのも、立戸・栄町に掛かり付けがあるので 2 号線を通ると便利。大竹駅から立戸・栄町方面 (2 号線) に出ることはできないか。市内に団地開発するときは市が責任を持って許可したと思うが、その団地に居住するときは若く、年老いることに考えが向かない。年老いて不便だと感じ、脱出を考えるようになる。大願寺にしても交通手段が便利であれば、業者も積極的に動くのではないかと思う。一石二鳥である。ぜひとも団地 (高台) を考えた交通手段を一考してほしい。それが団地から脱出する市民の流出を防ぐ道と思う。</p> | <p>昭和 40 年代以降に開発した、高台の団地の高齢化が進んでおり、通院、買物に不自由していることは承知している。ただし、全ての団地を経由する路線では、時間がかかり、不便な移動手段となってしまう。そのため、幹線とは別にフィーダー交通を、地域と一緒に考え、導入したいと考えている。</p> | —             |
| <p>○玖波 8 丁目まで上がってもらえると助かる。今は家族と同居しているが、病気や車を手放したとき、交通の便がないと大変困る。通院 (立戸・栄町) にとっても困りますので、ぜひバスを通してもらおうと便利になります。また、2 号線回りも欲しいです。</p>   | <p>地域には幹線とは別のフィーダー交通の導入を想定しています。運行方法などは地域と一緒に考えていく。</p>  | —             |

|   |                                       |                                       |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <p>○玖波 8 丁目は玖波駅まで歩いて 25 分かかります。現在 1 人暮らしになり毎日の買物が苦痛です。また、帰りは荷物を持って上坂が大変です。それに腰痛も歳とともに重度になりつつあります。2～3 日分まとめて買物をすると重く苦勞しています。そんなときはタク</p> <p><b>◆ ルートに関すること (3/4)</b> くれればとても助かります。73 歳の年寄りのお願いです。よろしくお願ひします。</p> | <p>なお、幹線の運行ルートは分科会で検討する。</p> <p>—</p> | <p>—</p>                              |
| <p>意見・提案など</p>  | <p>考え方・回答</p>                         | <p>計画案の対応</p>                         |
| <p>○廿日市市とも協議してさくらバスとの接続も考えてはどうか。</p>  | <p>近隣市町のバスとの連結も将来的には検討していきたい。</p>     | <p>廿日市市との調整をふまえて、必要に応じ、計画変更で対応する。</p> |
| <p>○南栄地区も高齢者が多くなった。日常の買物に行くにも苦勞している。週に 2 回くらい買物行きの巡回バスが通れば良いと思う。幹線道路だけでなく、高齢者対策として山間部、高台団地等にきめ細かく回るように路線設定すべきと思います。</p>   | <p>—</p>                              | <p>—</p>                              |

◆ ルートに関すること (4/4)

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>○大竹市に高齢者が安心して生活できるよう、福祉バスが必要。欲しい物、必要な食品等、人に頼まないで自分の感覚で買い物するため、また、安否確認の一端にもなるものと思う。特に高齢者の多い、木野、元町、本町地域あたりは毎日の生活に大切な食品売店がなくなってしまった。豆腐一丁買うのにも、油揚げ1枚買うのにもタクシーで行かなくてはならないと、ある高齢者の方の話です。足が悪く遠くまで歩けず悩んでらっしゃいます。何とかならんのかねと。私たちが近々、自転車に乗れなくなれば歩くことしかありません。大竹市内どこに住んでいても、できるだけ平等に高齢者が生活できるようにしてほしいと思います。先日、新聞に書いてあったように山陽線沿いのみでは困ります。もっと広く見つけて高齢者を大切に考え、乗る人が少なくても、ずっと木野、元町、本町あたりまでバスを走らせて下さい。道が狭くて困ると思われるかも知れませんが、何とか考えてください。小型のバスもあると思います。遠くに行けない高齢者が近くを走るバスに乗り、買物ができ、バスの中でのお話も癒しの一時と思います。ぜひよろしくをお願いします。</p> <p style="text-align: center;">意見・提案など</p> | <p>地域には幹線とは別のフィーダー交通の導入を想定しています。運行方法などは地域と一緒に考えていきます。</p> <p>なお、幹線の運行ルートは分科会で検討する。</p> <p style="text-align: center;">考え方・回答</p> | <p style="text-align: center;">—</p> <p style="text-align: center;">計画案の対応</p> |
| <p>○大竹駅～玖波駅間で30分もかかるのであれば、駅に出てJRを使えば安く早く行けるのではないか。</p>  | <p>状況に応じ、利用者にとって最善の方法で移動してもらえば良い。3拠点を結ぶ移動手段は必要。</p>  | <p style="text-align: center;">—</p>   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>○東口駅の事業を中止することで30億円の予算ができるので、路線バスも西栄，南栄，東栄まででも走らすことができる。栄町方面にある空き地も売却できるのではないかと思う。ぜひ栄町方面，本町，元町，新町方面にも路線バスを走らせるように努力してください。</p> | <p>指摘の地域については、幹線とは別の系統で、一旦は大竹駅に集客するシステムを導入したい。</p>  | <p>—</p>                                    |
| <p>○サントピアへのバス運行が必要。</p> <p>①幹線車両を活用し、1時間ヘッドの運行時に大竹駅～サントピア便を運行する。</p> <p>②フィーダー路線として総合市民会館～サントピアを運行する。</p>                         | <p>総合福祉センターであるサントピアへのニーズは理解している。立地条件から幹線ルートから外れている。提案の手法による移動手段の確保を検討したい。</p>   | <p>分科会での運行ダイヤの検討をふまえて、車両の有効的な活用策を検討したい。</p> |
| <p>○利用促進のため、御園台を経由したルートにする。</p>   | <p>高台団地を経由する路線では、他地域の居住者は時間がかかり、寄り道をしているような印象を与える。不便な移動手段となれば、乗らない可能性が高く、持続可能な仕組みの支障となる。そのため、幹線とは別にフィーダー交通を、地域と一緒に考え、導入したいと考えている。</p> | <p>—</p>                                    |

◆ 運営経費に関すること (1/2)

| 意見・提案など  | 考え方・回答  | 計画案の対応   |
|--|---|----------|
| <p>○バス運行に際しては、「ゆめタウンやイズミにも費用面で協力してもらおう」という意見もあり，商圈である和木町に乗り入れることにより同店からの広告（ボディ，車内）への協力・収入が得られるものとする。</p> <p>また，複数市町村をまたぐ系統等の要件を満たし，積極的な利用促進により輸送量等の基準をクリアすれば，国庫補助系統にも成り立て，市の負担が大幅に軽減される可能性があるのではないか。</p> | <p>運営経費については，企業，商業施設，医療機関など，広告費や協賛金の確保に努め，できる限り赤字の圧縮に努めていきたい。</p> <p>国・県の補助金についても活用を図るとともに地域の実情に即した補助制度となるよう要望する。</p> | <p>—</p> |
| <p>○超高齢社会になっていくので，75歳以上の人は自家用車または2輪の運転はかなり困難になるのではないか。（個人差も大きい）したがって今後は大竹市を中心に小型バスの路線を増し，市も県も国もそれらを支援して継続できるシステムを作るべき。社会は効率と利益のみで成り立っているのではない。日本には公共に回せるお金はまだいくらでもある。一般に回らないだけである。</p>                   | <p>国・県の補助金についても活用を図るとともに地域の実情に即した補助制度となるよう要望する。</p>   | <p>—</p> |
| <p>○現在ゆめタウンバスが玖波駅付近にまで運行しているが，大竹市，タクシー会社，ゆめタウン三者で運営・運行すれば運行経費のダウンにつながると思う。（例）車は大竹市で購入，運営はタクシー会社，スポンサーにゆめタウン等々。</p>   | <p>企業には広告・協賛の願をしていく。また将来にわたり持続可能な公共交通を構築するためには，左記3者のみでなく，住民も乗る努力は必要。</p>  | <p>—</p> |
| <p>○料金問題も考えないといけないのではないか。あまり市に負担がかかり，また借金が増えることだけはやめてほしい。</p>  | <p>利用促進による収入確保を基幹に，広告収入等の確保に努め，持続可能な交通システムの導入をめ</p>   | <p>—</p> |
| <p>○広告費の導入</p>   | <p>ぎず。</p>  | <p>—</p> |

◆ 運営経費に関すること (2/2)

| 意見・提案など                                   | 考え方・回答   | 計画案の対応   |
|---|--|----------|
| <p>○公費により交通弱者の移動手段を確保するという視点が必要ではないか。</p> | <p>全て公費でバスを運行するという考え方もある。黒字路線でない以上、一定の公費負担は必要と認識しているが、際限なく投入できる状況ではない。利用者にも一定の負担をしていただくことが、持続可能な公共交通を実現につながる。また、同等の公費負担で、より水準の高いサービスの提供が可能となる。</p> | <p>—</p> |

◆ 運賃に関すること

| 意見・提案など   | 考え方・回答  | 計画案の対応                                    |
|---|---|---|
| ○料金は1回100円に設定。1カ月5千円の乗り放題はどうか。  | <p>持続可能なシステムを念頭におきながら、実証運行などもふまえて、料金を決定していく。</p> <p>割安の回数券・定期券については検討のうえ導入していきたい。</p> | <p>料金は分科会で検討<br/>(割安制度については運行計画P8に掲載)</p> |
| ○年金生活者のために運賃はできるだけ安価に設定してほしい。   |   |   |
| ○100円の回数券を設けては？   |   |   |
| ○路線バスの運行は高齢者の人が喜んでいると思う。遠隔地の人と路線バスのアクセスをどのように取るか、また、バス料金を安くしないと利用者が少なくなるので、その点を良く考えて。大野町では100円バスで3台運行しています。参考にされては。 |   |   |

◆ ダイヤに関すること

| 意見・提案など                              | 考え方・回答                         | 計画案の対応 |
|--------------------------------------|--------------------------------|--------|
| ○バスの運行時間は平日・土日とも一定にしてはどうか。           | 現在のところ、区別なく運行する予定である。          | 分科会で検討 |
| ○利用者が少ないからということで減便しないほしい。            | 利用状況に応じて、よりニーズにマッチした運行を行いたい。   | —      |
| ○1時間に2本走らせてはどうか。                     | 現在のところ、一部時間帯を除き30分間隔で運行の予定である。 | 分科会で検討 |
| ○最終のバスをもう少し遅くし、通勤に使えるようにしては。         | 経費との兼ね合いもあるが、検討してみたい。          |        |
| ○通勤・通学者の利用を念頭に、6:30~20:00程度の運行時間とする。 |                                |        |
| ○時間帯をよく考慮して車を運行したほう良い。               | アンケート結果や実証運行の結果をふまえて検討したい。     |        |

◆ その他 (1/3)

| 意見・提案など  | 考え方・回答  | 計画案の対応      |
|--|---|-------------|
| ○東口自由通路にお金を使うのでしたら、外に使ってほしい。   | —   | —           |
| ○この計画案に対するアンケート用紙は知人から貰ったが、なぜ自治会単位で配布集計して市役所に届けるようにしないのか。より多くの市民の声を聞くべきではないか。              | 多くの市民の声を聞くべきという点は指摘のとおりである。協議会開催の都合もあり、HPでの周知となり申し訳なく思っている。全世帯に計画案を配布することは不可能であり、せめて市広報にパブリックコメントの実施について掲載できれば良かった。 | —           |
| ○（幹線を運行すると）現在ゆめタウンが運行している無料バスがなくなると思う。大竹市が路線バスを走らせると有料になり、ゆめタウンのお客が減るのではないか。               | ゆめタウンと調整しながら進めていきたい。  | —           |
| ○大竹市が路線バスを走らせることにより、現在タクシーで働いている人たちは生活できなくなる。また、大竹市に対しても税収が減税になるのではないか。                    | フィーダー交通については、タクシーを活用したシステムを導入したいと考えている。   | —           |
| ○計画案P4「住宅団地の整備状況」中に「ほぼ全ての団地が高台に立地している」とあるが、開発した団地は平地にも多く存在するため「高台に多くの団地が立地している」という表現が適切では。 | 指摘のとおり  | 指摘に従い、表現を修正 |
| ○名称を「コイこいバス」として色分けした鯉のぼりをイメージしたラッピングとする。   | 参考としたい  | —           |

◆ その他 (2/3)

| 意見・提案など   | 考え方・回答   | 計画案の対応 |
|---|--|--------|
| ○職員は週 1 回のバス通勤デーを設ける。(ノー残業デーとする)                            | 参考にしたい。  | —      |
| ○低公害車両など環境・地球にやさしい車両の導入                                     | 経費との兼ね合いはあるが、極力その方向で考えたい。  | —      |
| ○協議会委員には住民代表として自治会の役員等も所属しているが、市域全体の意見が反映されているとは言い難いのではないか。 | 行政が提案し、審判を仰ぐのではなく、住民と一緒に考えていくという観点から、委員としては自治会の方をお願いしている。<br>多くの市民の声を聞くことは必要と認識しており、アンケートやパブリックコメント等を実施している。これからもワークショップなどを通じて、市民の声を反映させていきたい。 | —      |
| ○地域交通が、住民の組織力不足により導入されなくなることを懸念する。                          | 住民が主体となり、行政はサポート役であることが地域交通を持続させていくポイントだと考えている。ただし、地域により温度差や事情が異なるのは当然であり、その体制づくりについても、しっかり支援していきたい。   | —      |

◆ その他 (3/3)

| 意見・提案など  | 考え方・回答  | 計画案の対応 |
|--|---|--------|
| ○障害者などの移動手段の確保について、どのように考えているか。  | <p>事業費の関係もあり、どこまで整備できるか不明であるが、車椅子等には対応できる車両が望ましいと考えている。</p> <p>自力での乗降が困難な方については、福祉有償運送の活用をお願いしたい。</p> | —      |
| ○地域で作りに上げていくという視点に賛同する。与えられたものでは盛り上がっていかない。コストも勘案しながら、地域の考えを活かしながら整備していけばよいのではないか。 | ご意見をふまえて、地域交通を整備していきたい。   | —      |

◆ 公共交通の必要性 (1/2)

| 意見・提案など   | 考え方・回答 | 計画案の対応 |
|---|--------|--------|
| <p>○65歳 女性(玖波) 自家用車, JR, 自転車, 徒歩</p> <p>玖波駅の近くに住んでいるので不便を感じていないが, 黒川に親類が住んでおり, 駅に出るのも, 病院に行くにもタクシー, ゆめタウンに行くのもタクシーを利用しないと行くことができないと聞くと, バスが通れば便利になると思う。</p>   | —      | —      |
| <p>○76歳 女性 自転車, 徒歩</p> <p>もう, とくに後期高齢で公共交通利用する歳ですが, 今のところ用事や通院は自転車や徒歩であり, いずれバスなどのお世話になるので, ぜひ実現してください。それを楽しみにしています。</p>  | —      | —      |
| <p>○73歳 女性(玖波8) JR, 徒歩</p> <p>交通の便利が悪いため, 病院・買物が思うようにできないので, ぜひバスをお願いします。</p>   | —      | —      |
| <p>○62歳 女性(御園) 自家用車, 自転車, 徒歩</p> <p>栗谷方面を走っているバスを見かけたことはありますが, 一度も利用したことはありません。年齢を重ねていくとあったら便利が良いなと思います。</p> <p>岩国地区の方は「くるりんバス」(小型)が1人100円でコースが色々あって, どこまで行っても100円だそうです。ガソリン代も考えて, バスにしなくても普通乗用車(8~9人乗り)でも。</p> | —      | —      |

◆ 公共交通の必要性 (2/2)

| 意見・提案など   | 考え方・回答   | 計画案の対応   |
|---|----------|----------|
| <p>○67歳 男性(黒川3) 自家用車</p> <p>現在の大竹市は500億円の借金と老人が多く、これから介護が必要となる方々のために、バス路線が重要と思う。買い物に行ったり病院に通ったり、手段がないからタクシーを使用。年金生活者の方は大変です。4月からは都市計画税が導入され、大竹駅東口に30億円をかける事業を再評価したりしているが、そんな金があるであれば、廿日市市が行っているような市民のためのバス、べにまんさく車(宮島口～大野町～玖波駅を回る市民のために低運賃で誰もが乗車できるような15人～20人乗りのマイクロバス)を何台か設置し、市内の交通の便が少ない道路を重点調査し、朝夕の時間帯優先に走らせる必要があると思う。</p> <p>例：松ヶ原、玖波7・8丁目を經由し玖波駅、西医療センターを回る路線。三ツ石、木野、大竹駅を回る路線とか。以上、バス路線は早急に進めるべきと思う。</p> <p>タクシー代(松ヶ原→ゆめタウン)なら3千円。</p> <p>廿日市市マイクロバス宮島口～大野町～玖波駅で200円である。</p> | <p>—</p> | <p>—</p> |